



小麦 No.1-①

のう じ でん そう

# 農 時 電 送

J A新はこだて若松支店、J Aきたひやま、J A今金町  
 檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

## 秋まき小麦 : は種に向けた準備をしよう!

### ☆ほ場の準備

- ・透排水性の改善 : 心土破碎の施工や溝切りなどを行っておく。
- ・土壌pHの改善 : 目標pH5.5~6.5

### ☆は種適期とは種量

小麦は、は種日が極端に早く、は種量が多すぎると、過繁茂になり倒伏しやすくなります。また、は種日が遅すぎると生育量が確保できなく雪腐病の被害を受けやすくなり、その結果生育がばらつき、赤かび病の被害を受けやすくなります。

#### ●なまぐさ黒穂病について

近年全道各地で発生が確認されている「なまぐさ黒穂病」は、は種時の土壌水分高く、地温が5~15℃以下の比較的低い条件下で感染しやすい病気です。このため、遅まきするほど発生する可能性が高まりますので適期は種に努めましょう。

	適期まき	やや遅まき	は種晩限
は種時期	9/18~24	9/25~	10/3
は種量 (kg/10a)	5.5~6.0 (140粒/m <sup>2</sup> )	6.5~7.0 (170粒/m <sup>2</sup> )	上限 10~10.5 (255粒/m <sup>2</sup> )

※ は種時期 : 11/15を起日とした日平均気温3℃以上の積算温度(今金アメダス平年値)

は種適期 : 積算温度520~640℃、は種晩限 : 積算温度400℃

### ☆施肥量 基肥窒素量 : 4kg/10a

(施肥例 : 807またはBB807M 50kg/10a) を基本とし、**地力に応じて加減**しましょう。

起生期追肥省略型肥料(ジシアン、セラコートなど)は**起生期まで必要な窒素量を**施用しましょう(施肥例 : Dd708 60kg/10a)。

参考 : 秋まき小麦早期は種試験

区分	は種日 (月日)	は種量 (kg/10a)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	稈長 (cm)	粗原収量 (kg/10a)	子実重 製品(2.4mm) (kg/10a)	標準比 (%)	製品率 (%)	タンパク値 (%)
早まき区	2018/9/14	5.7	690	85.3	777	728	138	94	8.4
標準まき区	2018/9/21	5.7	603	77.2	571	525	100	92	9.0

2019年せたな町農業センターにて実施

## ○●適正管理で目指せ! 1等Aランク10俵どり●○



# 農時電送

小麦 No.1-②

J A新はこだて若松支店、J Aきたひやま、J A今金町  
 檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

雑草の発生が多いほ場では、  
耕起前処理での除草対策も検討して下さい。

## ☆耕起前の除草剤

薬剤名	適用雑草	使用時期	使用量 (/10a)	使用方法	使用回数
クサトリキング	多年生イネ科雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期 草丈30cm以下)	250~1000mL (水量25~100L)	雑草茎葉 散布	3回 以内
	1年生雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期 草丈30cm以下) は種後出芽前 (雑草生育期)	250~500mL (水量25~100L)		
	多年生雑草	耕起7日前まで (雑草生育期 草丈30cm以下)	500~1,000mL (水量100L)	1回	
タッチダウンiQ	1年生雑草	耕起又はは種前 (雑草生育期) は種後出芽前 (雑草生育期 草丈30cm以下)	250~500mL (水量25~100L)	雑草茎葉 散布	1回
	多年生イネ科雑草	耕起3日以前 (雑草生育期)	500~1,000mL (水量25~100L)		
ラウンドアップマックスロード	1年生雑草及び多年生イネ科雑草	耕起前又はは種前まで (雑草生育期)	200~500mL (水量25~100L) 通常散布 (水量50~100L)	雑草茎葉 散布	3回 以内
		は種後出芽前 (雑草生育期)	(少量散布 25~50L)		

多年生・一年生イネ科雑草は、  
秋処理で十分に除草対策を行いましょう。

☆は種後の除草剤

薬 剤 名	適用 雑草	使用時期	使用量 ( /10a)	使用方法	使用 回数
ゴーゴーサン 乳剤	1年生 雑草	は種後 (雑草発生前) ～小麦2葉期 (イネ科雑草 1葉期まで)	300～500mL (水量70～100L)	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	1回
ガルシア フロアブル*	1年生 雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	150～250mL (水量70～100L)	全面土壌散布	1回
		小麦出芽直前 ～小麦3葉期 (雑草発生前 ～発生始期)	100～200mL (水量70～100L)	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	
ボクサー*	1年生 雑草	は種後～麦2葉期 (雑草発生前 ～発生始期)	400～500mL (水量50～100L)	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布	2回 以内
		麦2葉～麦4葉期ま で (雑草発生前 ～発生始期)	400～500mL (水量70～100L)		
ガレース 乳剤*	1年生 雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	200～250mL (水量100L)	全面土壌散布	1回
		出芽後 出芽揃まで (雑草発生前 ～発生始期)	150～250mL (水量100L)	雑草茎葉散布 または	
		小麦1～3葉期 (雑草発生前 ～発生始期)	100～150mL (水量100L)	全面土壌散布	

\* 印の薬剤は砂土での使用は避ける。

○●安全第一で農作業を行いましょう！！●○